

平成28年度 日常の環境・クラスの取り組み 年長

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
子ども達に願うこと	<ul style="list-style-type: none"> 自分の側転の回転方向を知る。 ポイントを意識して動く。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の側転の回転方向を知る。 ポイントを意識して動く。 	<ul style="list-style-type: none"> 諦めずに挑戦する気持ちを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達同士で教えあったり、認め合ったりしてみんなで挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友達の動きに気づく。 友達同士で教えあったり、認め合ったりして挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> 組み立て体操を通してみんなで力を合わせてできた時の楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と教え合い、みんなで上手くなろうとする気持ちを持つ。 くもの巣なしでの側転に挑戦する。
廊下ホール	①テープの線路 ②くもの巣 	①② 	①② ③くじ引きボックス(以上児トイレ前)  ④はしご型の線路(年長児用) 	①②③④ ⑤ポスター 	⑥鉄棒 ⑦膝に下敷きや帽子を挟む 	①②③④⑤⑥⑦ 	①②③④⑤⑥⑦
保育室			①鉄棒	① ②はしご型の線路 	①② ③跳び箱		①②③④
園庭	①くもの巣	①	①	① ②牛乳パック、フープ、白線(なみなみ、ギザギザなど)などの障害物	①② ③網ネット ④平均台、跳び箱、鉄棒	①②③④ ⑤サーキット遊び	①②③④⑤ ⑥側転やくまさん歩きゲーム 
配慮保育士の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の様子や状態を把握して、楽しんで動けるような声かけをしていく。 生活の中で遊びながら動けるような環境を設定していく。 	<ul style="list-style-type: none"> できる子には継続してできるように、できない子に動きのポイントを知らせるなど声をかける。 側転の回転方向が分かるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 上手な子に“名人”になってもらい、応援したりやり方を教えたりしてもらおう。 くじ引きボックスは引いた動きをやるように声をかけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 諦めてしまう子には個別に声をかけ、楽しみながら動いて遊べるように誘う。 動き方が分かるように、動画を見せるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な動きもできるように、くじ引きボックスを使い、くまさん歩きもやるようにする。 動きの途中に「新幹線」「車庫いれ」と声をかけアレンジする。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会ごっこをしながら、異年齢の友達と運動の様子を見合ったり教え合ったりするようにした。 異年齢児に応援してもらおうなど関わるようにし、発表できる場を持った。 	<ul style="list-style-type: none"> 側転でだるまさんが転んだ、くまさん歩きでハンカチ落としなど、運動支援の動きを取り入れ、ゲーム感覚で楽しめるようにした。 友達の頑張っているところをクラスで伝えていく。
子どもの変化	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中での運動あそびが定着し、自然に運動遊びをするようになってきた。 できるようになってきた子は、次の段階へ挑戦している。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れから注意力が欠けてくる。くもの巣などの障害物を出すと体の使い方に注意し気をつけながら運動するようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ポイントやコツを考えながら動こうとする子が増える。中にはできないからと決めつけたり、諦めてしまったりする子もおり、意識の差や個人差がさらに出てきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達に励ましてもらおうと嬉しくて頑張ろうとしたり、やってみようとしていたりする子も少しずつ増えてきた。また、教える時にはわかるような教え方を考えている様子があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達がやっていると真似して運動するようになる。友達のいいところを認め合うことで、やる気が出てきたように感じる。 運動会が近づくにつれ意欲が増してきた。 園内のいろいろな場所で、動きを楽しむようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会が近づきますます意欲的になる。組体操は“みんなで協力して完成したい”ということから、運動の一つ一つを友達同士励まして取り組もうとしていた。 側転が安定してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームのやり方を変えると、面白がりゲームも動きも楽しんでやっていた。 自分なりに課題をもって取り組もうとしている。 運動用具がいつでも使えるので、身近になっている。